

にんちしょうケアパス  
おだわら

認知症でも、  
自分らしく、安心して  
暮らしていくために



「にんちしょうケアパス」は、認知症の症状とケアの流れ、支援体制などを紹介したものです。

小田原市



相談先  
一覧

高齢者よろず相談窓口  
地域包括支援センター



日時 月～金 8:30～17:15 (祝日、年末年始を除く)

お住まいの地区	地域包括支援センター名	電話
緑、万年、幸、芦子	しろやま	23-8115
新玉、山王網一色、足柄	はくおう	34-7611
十字、片浦、早川、大窪	じょうなん	24-5601
二川、久野	はくさん	66-3066
東富水	ひがしとみず	39-5551
富水	とみず	66-3456
桜井	さくらい	20-3371
酒匂・小八幡、富士見	さかわこやわた・ふじみ	47-9300
下府中	しもふなか	48-1101
豊川、上府中	とよかわ・かみふなか	38-4441
曾我、下曾我、国府津	そが・しもそが・こうづ	42-1374
前羽、橘北	たちばな	44-1102

あなたの地区の地域包括支援センターが不明な際に

小田原市 高齢介護課

電話 0465-33-1864  
日時 月～金 8:30～17:15 (祝日、年末年始を除く)

認知症に関する専門医療相談

認知症疾患医療センター 曾我病院 福祉医療相談室

電話 0465-42-1630 (代表)  
日時 月～金 9:00～17:00 (祝日、年末年始を除く)

医療機関の案内

小田原医師会地域医療連携室

電話 0465-47-0833  
日時 月～土 9:00～12:00  
13:00～17:00 (祝日、年末年始を除く)

小田原歯科医師会地域支援歯科連携室

電話 0465-49-1319  
日時 月～土 9:00～12:00  
13:00～17:00 (祝日、年末年始を除く)

保健師・ケースワーカーによる相談

神奈川県小田原保健福祉事務所 保健予防課

電話 0465-32-8000 (代表)  
日時 月～金 8:30～17:15 (祝日、年末年始を除く)

介護経験者による相談

かながわ認知症コールセンター

電話 0570-0-78674  
日時 月・水 10:00～20:00  
土 10:00～16:00 (年末年始を除く)

金銭管理や成年後見制度の相談

相談先 1. 各地域包括支援センター (左表参照)  
2. かながわ成年後見制度推進センター

電話 045-312-5788  
日時 月～金 9:00～17:00 (祝日、年末年始を除く)

悪質商法や消費者被害についての相談

小田原市消費生活センター

電話 0465-33-1777 (専用ダイヤル)  
日時 月～金 8:30～17:15 (祝日、年末年始を除く)

自分で出来る  
「認知症チェックリスト」をやってみよう!

- 同じ事を何度も話したり、たずねたりする。
- 出来事の前後関係がわからなくなった。
- 服装など身の回りに無頓着になった。
- 水道栓やドアを閉め忘れしたり、後片付けがきちんとできなくなった。
- 同時に二つの作業を行うと、一つを忘れる
- 薬を管理してきちんと内服することができなくなった。
- 以前はてきばきできた家事や作業に手間取るようになった。
- 計画を立てられなくなった。
- 複雑な話を理解できない。
- 興味が薄れ、意欲がなくなり、趣味活動などを止めてしまった。
- 前よりも怒りっぽくなったり、疑い深くなった。



※家族が客観的に見てこれらの項目で3項目以上当てはまる場合は、認知症の疑いがあります。(群馬大学名誉教授 山口晴保氏 作成)



# 認知症の症状の変化と対応

ケアパス

認知症は原因疾患や身体状況によって経過が異なり、その人に合わせた対応や支援が大切です。小田原市では、様々な支援を行っているため、お気軽に裏面の相談窓口にご相談ください。



## 抱え込まずに、まず相談!

認知症の症状の変化	物忘れあるが生活は自立	そろそろ見守りが必要	手助けが必要	常に手助けが必要	介助なしでの生活が困難
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>財布の中に小銭が増える</li> <li>物忘れが多くなる</li> <li>会話の中に「あれ」「それ」など代名詞がよく出てくる</li> <li>片付けが苦手になる</li> <li>物が無くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭管理が難しくなる</li> <li>探し物をする時間が増える</li> <li>必要な物を必要なだけ買うことができない</li> <li>同じことを繰り返し聞く</li> <li>火の消し忘れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬を間違えて飲む</li> <li>たびたび道に迷う</li> <li>季節にあった服が選べない</li> <li>家電の操作が難しくなる</li> <li>生活リズムが乱れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの場所がわからない</li> <li>道に迷って帰ってこられない</li> <li>日にちや季節がわからなくなる</li> <li>洋服の着方がわからない</li> <li>食べ物でないものを口に入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で食事ができなくなる</li> <li>会話でのコミュニケーションが難しい</li> <li>表情が乏しくなる</li> <li>歩行が困難</li> <li>起き上がるのに介助が必要</li> </ul>
家族の気持ちと対応	<p>なんとなくおかしい?と感じて不安に...</p> <p>物忘れを年のせいにしてしまい、悩みを抱え込んでしまいがち。</p> <p>一人で抱え込まずに誰かに相談することが大事。その人に合った環境調整や家族の理解が今後の症状の変化に影響します。また、家族自身の気持ちも落ち着きます。</p> <p>家族会やサロン等に参加すると色々な情報が得られます!</p>	<p>本人の行動や心理状態への対応に悩み戸惑う。</p> <p>周囲に隠さず話すと気持ちも楽になり、理解や協力も得られます。</p>	<p>症状を理解し対応が上手になってくる。しかし、本人の失敗が増え介護疲れを感じる。休みたくなる。</p> <p>自分のリラックスできる時間も大事にしましょう。</p>	<p>最後の過ごし方や看取りが心配。</p> <p>元気なうちに本人の意向を確認し、記録に残しておきましょう。</p>	
本人や家族がやっておきたいこと決めておきたいこと	<p>地域の活動やサークル等、今までやってきたことを続けましょう。</p> <p>大事なことはメモに書き留めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友人や地域とのつながりを大切にしましょう。</li> <li>地域包括支援センターや、かかりつけ医に相談しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一日の計画を立てて行動してみましょう。</li> <li>外出の機会を持ちましょう。</li> <li>本人の話をじっくり聞きましょう。</li> <li>これからについて一緒に考えましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できることは続けましょう。</li> <li>大変なことは、周りの人に手伝ってもらいましょう。</li> <li>周囲との関わりを持ち続けましょう。</li> <li>施設での生活を希望する場合は早めに見学しておきましょう。</li> <li>将来に備えて、成年後見制度等の利用について検討しましょう。</li> </ul>	<p><b>対応のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆっくり短い言葉で少しずつ伝えましょう。</li> <li>説得や否定はせず、気持ちを受け止めましょう。</li> <li>手をにぎる、背中をさする等スキンシップを取り、安心させましょう。</li> </ul>	
介護保険	申請の相談	介護認定の取得、介護サービスの利用			

## 認知症の方や家族への支援体制

**予防**

介護予防事業（認知症予防教室等）  
認知症サポーター養成講座

**相談**

地域包括支援センター  
小田原市高齢介護課  
ケアマネジャー  
小田原医師会地域医療連携室  
小田原歯科医師会地域支援歯科連携室  
小田原保健福祉事務所  
かながわ認知症コールセンター  
民生委員

**地域での支え合い**

老人クラブ  
地区のサロン  
認知症カフェ・サロン  
おだわら家族会  
認知症サポーター  
オレンジパートナー  
アクティブシニア

**生活支援**

家族介護教室  
徘徊高齢者SOSネットワーク  
介護マーク  
成年後見制度  
あんしんセンター

**医療**

かかりつけ医、歯科医、薬局  
物忘れ外来  
認知症初期集中支援チーム  
認知症疾患医療センター  
訪問歯科診療  
訪問薬剤師  
訪問看護

**介護**

ホームヘルプサービス  
デイサービス  
ショートステイ  
小規模多機能型居宅介護 など

**住まい**

サービス付き高齢者向け住宅  
有料老人ホーム  
認知症グループホーム  
介護保険施設 など

オレンジリングを付けている方は**認知症サポーター!**  
困ったときは頼りにしてください!

**認知症サポーターになりましょう!**

◎ご近所の方やスーパー、銀行など地域で働く人たちが、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族が困ったときに手助けしてくれると、安心して過ごすことができます。

**認知症サポーターとは?**

認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことです。約1時間半の講義を受講すれば、どなたでもなることができます。

**オレンジパートナーとは?**

認知症サポーター養成講座を受講した方のうち、さらに知識を深め、積極的に活動している方です。